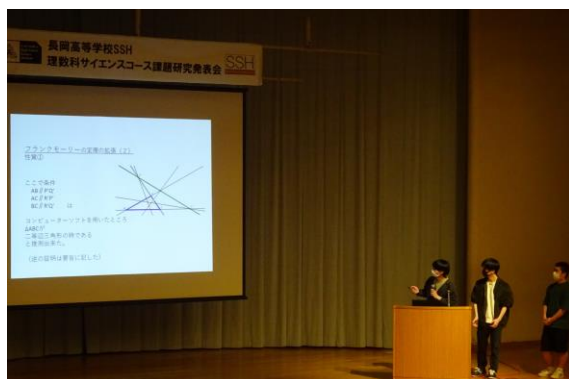


## 令和5年度 長岡高校スーパーサイエンスハイスクール

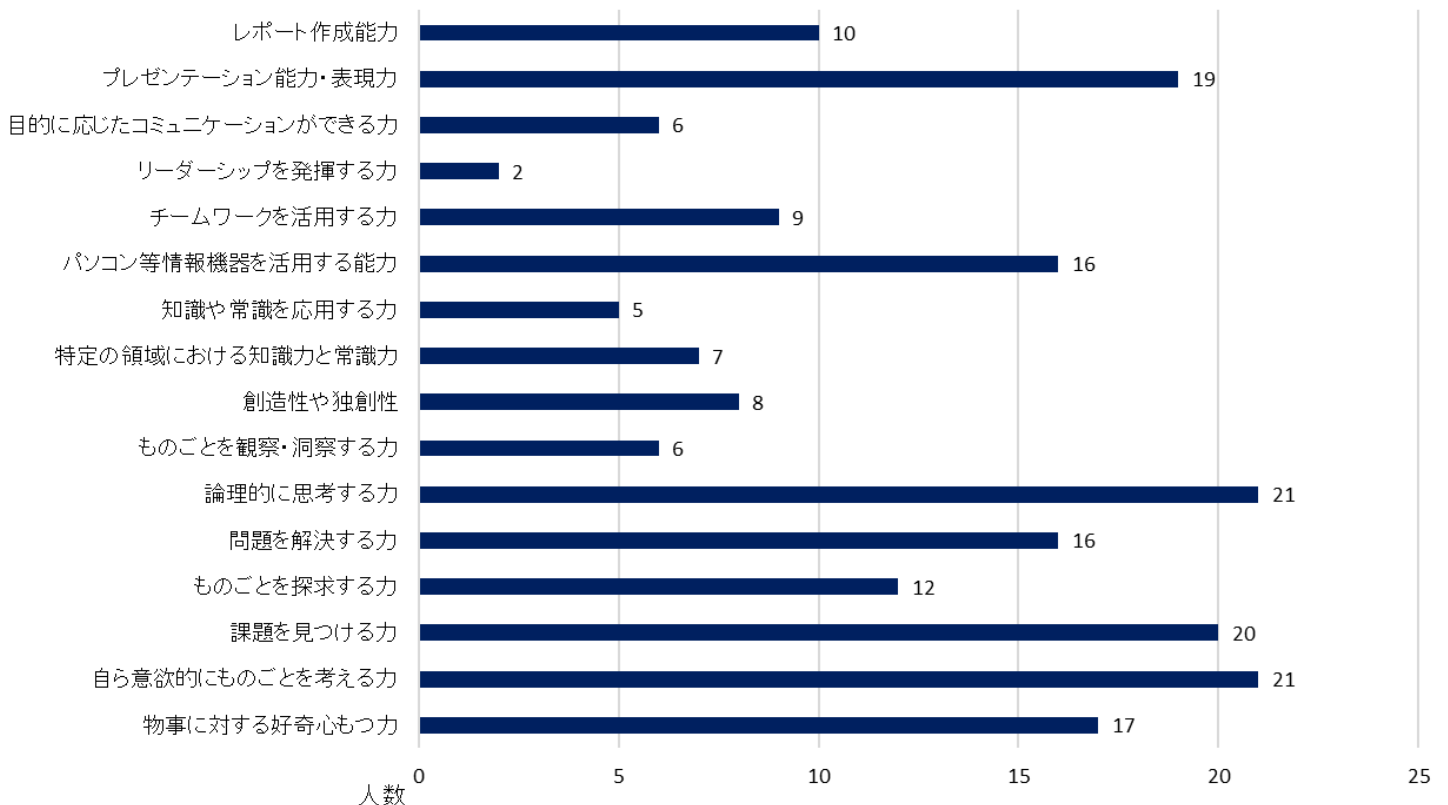
名 称	令和5年度 SSH 理数科サイエンスコース 課題研究発表会
期 日	令和5年4月18日（火）13時～17時
会 場	ホテルニューオータニ長岡 NCホール
対 象	本校理数科3年49名 2年50名 1年82名 計181名 新潟南高校理数科生徒（オンライン視聴）
目 的	科学および数学に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習をとおして、専門的な知識と技能の深化、総合化を図るとともに、問題解決に必要な分析力・創造性・レジリエンス力を育てる。
内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス対応のため、会場には本校生徒、職員、発表者の保護者の参加であったが、今年度は長岡技術科学大学の先生2名にも参加いただき、会場で直接審査・講評をいただいた。また、昨年に引き続きオンラインでは、同大学の先生方4名に加え、新潟大学の長束先生および、帝京大学先端総合研究機構長・東京大学名誉教授の浅島先生にも参加いただいた。</li> <li>本校理数科3年生サイエンスコース生徒（全14グループ）が課題研究の内容と成果、今後の展望を発表し、その後質疑応答、長岡技術科学大学の先生方からの講評、という内容で行った。</li> <li>2年生は、発表会運営の主体として仕事を行いながら、研究発表を聞き、質問することで自分たちの研究課題を発見する機会となった。また1年生は、先輩達の研究発表会へ臨む真摯な態度を見ることで、課題研究への知的好奇心と発表会に参加する際の心構えなどを実感することができた。</li> </ul>

口頭発表の様子



## 令和5年度 課題研究発表会・発表者の自己評価

### 1. 自分にどのような力がついたと思いますか。



### 2. 自分の研究や発表を客観的に5段階評価してください。

評価項目	評価の平均
1 自主的・意欲的に取り組んだか	4.6
2 課題を見つけ、探究し、問題を解決したか	4.3
3 じっくりと観察・洞察をし、論理的に考えたか	4.5
4 テーマ設定や実験・実習の手法に独創性があったか	4.3
5 テーマに関する知識や常識が十分に身についたか	4.4
6 発表がわかりやすく、プレゼンテーションが的確であったか	4.3

### 3. 課題研究をどのように感じましたか。

4:よくあてはまる、3:ややあてはまる、2:ややあてはまらない、1:全くあてはまらない

評価項目	評価の平均
7 夢中になって取り組んだ時期がある	3.5
8 研究活動は楽しかった	3.5
9 科学の面白さ・奥深さがわかった	3.5
10 発表を終えて達成感がある	3.5
11 発表を通じて自己の研究に対する理解が深まった	3.4
12 教科書にはない実験・研究ができてよかった	3.5
13 将来この経験が役立つと思う	3.3
14 通常の学習の意欲向上につながった	3.3
15 大学受験の障害となった	2.5
16 指導する先生とコミュニケーションが取れてよかった	3.4

## 感想など

- 生物分野の課題研究だったため、研究にかける期間がとても長く大変だと感じた。しかし、実験をする中で、より良い結果が得られたことや、回数を重ねることにより正確な実験方法を考えることができたのでよかった。
- 自分で目的を決め、それを達成するために必要な実験を行い、結果が出た時は達成感を感じた。また、他の班の発表を聞くことで、社会で問題になっていることや、その解決策の一つを知れて面白かった。
- 仲間と協力して様々な問題に取り組み、達成感があるから良かった。難しいことにもチャレンジできて良かった。実験を繰り返し行うことがあまりできなかったのが悪かったと思う。
- ここ1ヶ月くらいは課題研究で忙しくて、勉強が普段より出来なかったが、充実していたように感じた。
- 課題研究を通して、科学の奥深さ、面白さを感じる事ができた。テーマを決めてから今日まで、上手くいかなかった実験もあり、その度に次の実験をどうするか悩んだが、チームのみんなで意見を出し合って、最後まで納得のいく研究をすることができた。実験の回数が不十分だったことや、他にもたくさん足りないところがあったので、今後の生活や授業に活かしていきたい。
- 自分で課題を見つけるところから、解決方法を考え実験を繰り返し、最後に多くの人の中で発表するという貴重な経験が高校生のうちにできて良かったです。
- 研究を始めた時は、手探り状態で先生やメンバーともうまく連携が取れなかったけれど、実験を重ねることで仕事を上手いこと分担したり、先生の助言を実験や発表に反映できたりしたのは、とてもやりがいがあって面白かったです。
- 観察、記録を継続して行うことは大変で、研究の難しさを体感した。チームワークは本当に大切だと思う。仕事の偏りが大きく大変なことが多かった。
- 実験結果が上手く出なかったり、良い結果ではないときにも上手く考察して原因を追求できた。
- 発表のための準備は大変だったけど発表を終えて達成感がすごかった。課題を解決するために仲間と協力できてよかった。